



balloona

抱っこバッグ

取扱説明書

安全にご使用頂くために

balloona 抱っこバッグとは

balloona 抱っこバッグはショルダーバッグとしてもご使用頂けるヒップシートです。バッグ背面にお子様のお尻を乗せることで、抱っこの負担を軽減する商品です。

対象年齢 本製品はひとり座りができるお子様～体重20kgまでのお子様にご使用可能です(7ヶ月～4歳頃まで目安)。

警告 この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は、死亡や重傷などの重大な障害に結び付く可能性があります。

- ご使用前に、点検を行ってください。バックルなどの部品に破損がないか、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、傷がないことを確認してください。異常がある状態で使用すると事故につながる恐れがあります。装着後は緩みがないか必ず確認してください。
- 着脱は安全な場所で行える限り低い姿勢で行ってください。
- 着脱時や体を傾ける際は座面のバランスに注意し、慎重に行ってください。お子様が落下する恐れがあります。
- 本製品は安全を確保するための装備ではなく、お子様を抱っこする際に使用する補助製品です。必ずお子様の背中を支えながら安全に注意してご使用ください。
- 使用の際はお子様の状態に常時注意し、正しい姿勢で装着してください。
- 本製品にお子様を乗せた状態で料理や運転、運動を行わないでください。
- 妊娠中の方はお腹を圧迫する可能性があるため使用をお控えください。

注意 この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は、傷害を負うまたは物的損害が発生する可能性があります。

- はじめに屋内で練習してから屋外でご使用ください。練習の際は地面が柔らかい場所で行い、可能な限り他の大人の補助を受けることを推奨致します。
- 体調がすぐれないときや身体に痛みを感じたときは使用をお控えください。
- 連続使用は長くても30分程度にとどめてください。長時間使用すると首や肩などを痛める可能性があります。

ご使用前に必ず取扱説明書を読み、大切に保管してください。

お手入れ方法

- 中性洗剤を使用し、冷水またはぬるま湯で手洗いしてください。
- 洗濯機や乾燥機を使用しないでください。
- 漂白剤を使用しないでください。

お問合せ先

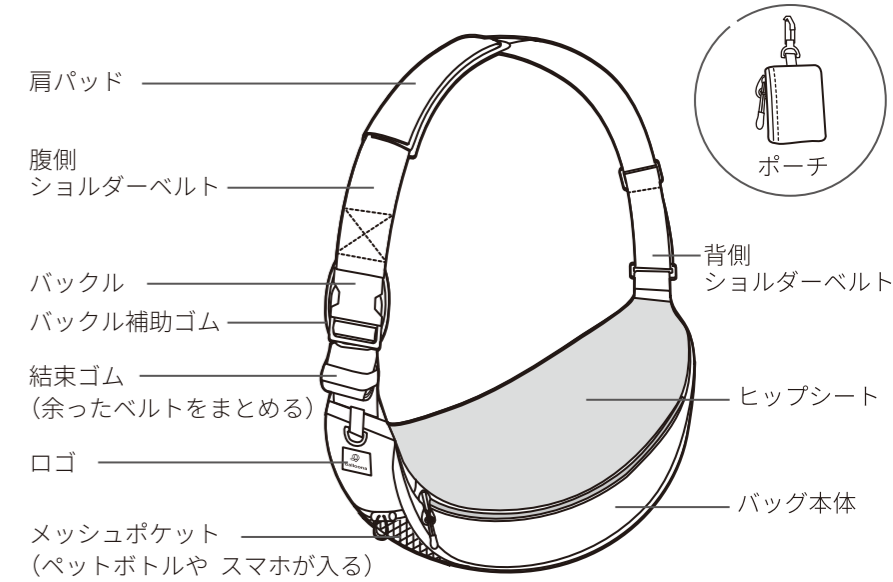
製品に関するご意見やご感想、使い方に関するご質問、返品のご相談等承ります。
※お電話でのお問合せは承っておりませんのでご了承ください。

balloona お客様相談室 support@balloona.jp

商品の改良変更等により、本書のイラストや記載事項と実物が一部異なる場合がありますのでご了承ください。

202405 B108460

各部の名称



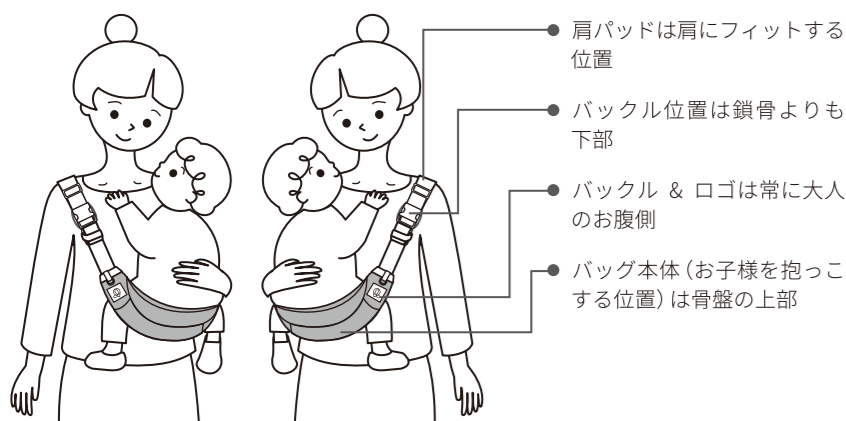
装着のながれ

装着方法は簡単 3 ステップ!

- 1 サイズ調整**
「正しい装着イメージ」を参考にショルダーベルトをちょうど良い長さに調整する
- 2 緩めて乗せる**
いったん腹側ショルダーベルトを緩め、低い位置でお子様を乗せる
- 3 抱っこして締める**
お子様を抱き上げたら腹側ショルダーベルトを締めて、元のちょうど良い長さに戻す

正しい装着イメージ

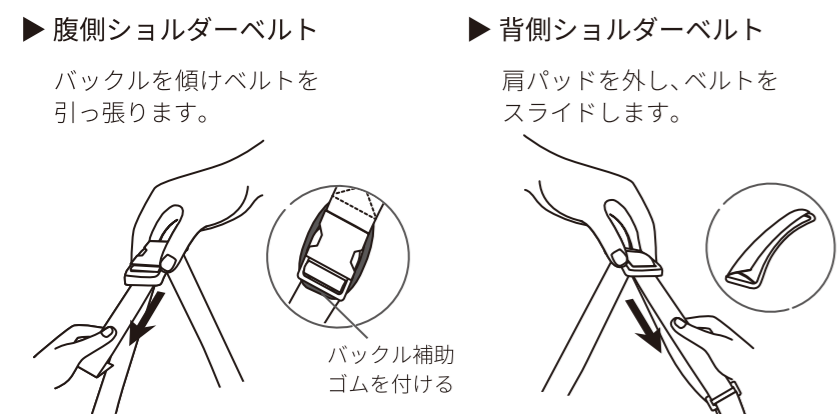
正しく装着するとこのようになります。



左右どちらの肩にも着用頂けます。 さあ、装着していきましょう! >>>

装着方法 ~サイズ調整~

1 両方(腹側・背側)のショルダーベルトをサイズ調整する



それでは、お子様を抱っこしましょう! >>>

装着方法 ~抱っこしよう~

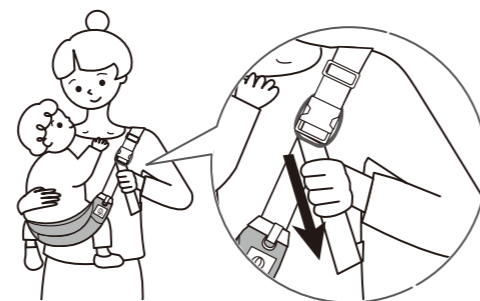
2 腹側ショルダーベルトを緩め、お子様のお尻を乗せる

腹側ショルダーベルトをいったん緩め、バッグ本体をお子様のお尻から被せるようにします。

続いてバッグ背面(ヒップシート部分)にお子様のお尻を乗せ、体を支えながら抱き上げます。

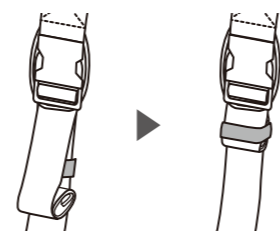


3 腹側ショルダーベルトを締め、元の長さに戻す



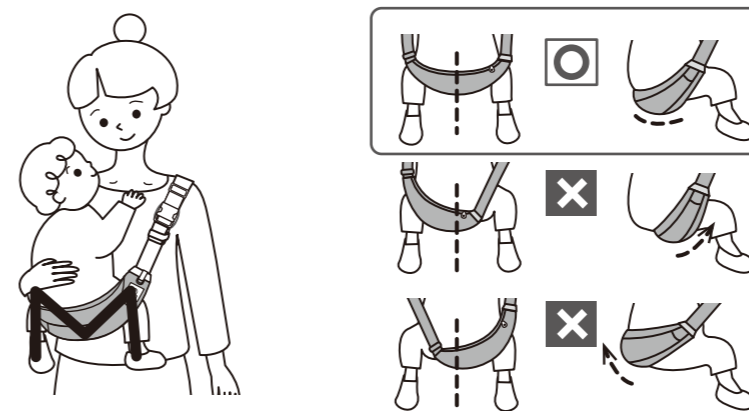
お子様を抱っこできたら、緩めた腹側ショルダーベルトを引っ張って、元の長さに戻します。

余った腹側ショルダーベルトは結束ゴムでまとめてください。



装着方法 ~チェックしよう~

Point お子様の姿勢をチェック!



☑ お子様の脚がM字になるようしっかりと広がっていますか?

☑ お子様のお尻がバッグの中央に位置していますか?

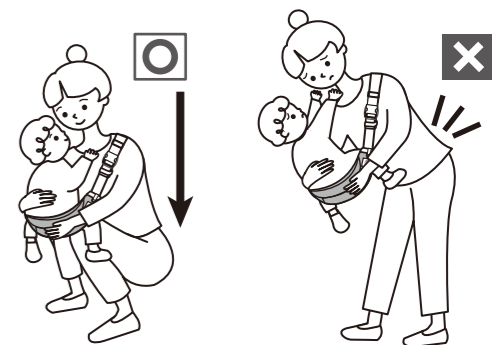
※前後・左右にずれていると滑り落ちる恐れがあります。

降ろし方

1 お子様をしっかりと抱き抱えながら、ゆっくりと低い姿勢になる

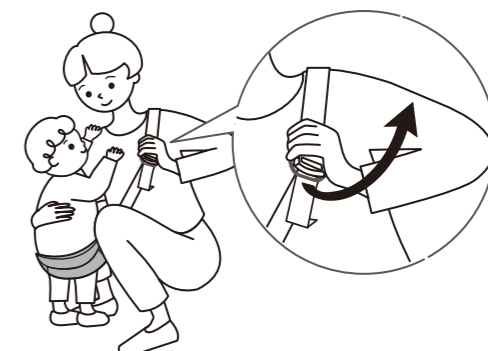
Point

腰ではなく、ひざを曲げて地面に対して垂直に下がります。



2 腹側ショルダーベルトを緩めてお子様を降ろす

お子様を支えながら、反対の手で腹側ショルダーベルトを緩めます。



バックルを握り、傾けてから引っ張るとスムーズに緩めることができます。このとき、バックルを外しても構いません。

Point 腹側ショルダーベルトを緩めづらいときは

バックルの位置が鎖骨より下に来るように腹側ショルダーベルトを調整してください。バックルに手が届きやすくなり、ベルトを緩めやすくなります。